

# やまがた 議会だより

平成26年1月

No. 107

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 上條光明）  
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



## 東筑摩郡村議会議員交流会

- |           |     |           |   |
|-----------|-----|-----------|---|
| ■第4回議会定例会 | 2   | ■キャッチボール  | 7 |
| ■主な議案     | 2   | ■区長時代の思い出 | 8 |
| ■議会活動報告   | 3   | ■議会日誌     | 8 |
| ■一般質問     | 3~7 |           |   |

平成25年

# 第4回議会定例会

## 子育て支援センター

### 今春4月開館

平成25年第4回議会定例会は、12月11日から19日迄の9日間の会期で開催された。主な日程は、陳情1件、議員発議「特定秘密保護法の慎重な運用を求める意見書」、平成25年度一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、松本広域連合の処理する事務の変更及び松本広域連合規約の変更について、などが委員会審議を経て、原案どおり可決された。



子育て支援センター

## 補正予算

〔一般会計〕(第4号)

歳入歳出予算それぞれ2千3百10万4千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ35億7千2百72万1千円とした。

補正の主なものは、歳入では村税1千9百万円増、国庫支出金3千6百万円増、繰入金3千2百万円減、村債6千8百万円減。歳出では総務費6千2百万円減、諸支出金(基金費)4千万円増。

〔国民健康保険特別会計〕(第1号)

歳入歳出予算それぞれ1億2千2百51万6千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ11億2千9百66万2千円とした。

補正の主なものは、歳入では前期高齢者交付金7千百万円増、繰越金7千7百万円増。歳出では保険給付費5千百万円増、後期高齢者支援金等1千5百万円増、基金積立金5千万円増。

〔介護保険特別会計〕(第3号)

歳入歳出それぞれ8万2千円減額し、総額を歳入歳出それぞれ6億5千7百万5千円とした。

以上3会計とも全会一致で賛成。

## 補正予算

(単位：千円)

	補正額	予算総額
一般会計	△23,104	3,572,721
国保特別会計	122,516	1,129,662
介護特別会計	△82	657,005

※△印は減額を示す

## 陳情書

「要支援者への予防給付を市町村事業とする点」とについての意見書提出に関する要望書」  
宮沢敏議員が反対、ほかの10名の議員は賛成。



## 議員発議の意見書

「特定秘密保護法の慎重な運用を求める意見書」

宮沢敏・柴橋潔議員が反対、ほかの9名の議員は賛成。

宮沢敏議員から、国民の知る権利と報道の自由は法案に盛り込まれていないので、保護される旨の反対討論、大月民夫・竹野園麿議員から賛成討論があった。

平成25年

第5回

山形村議会

臨時会

(12月25日)

山形村子育て支援センター

増額変更になる

山形村子育て支援センター

建設工事の変更請負契約は、当初の契約金額を施設の安全化対策などで3百2万4千円増額し、総額1億2千93万4千円とした。

全会一致で賛成

※今後の日程

平成26年1月20日

完成

2月3日

試行開館

3月16日

竣工式

4月1日

正式開館

# 一次救命処置 (心肺蘇生・AED)を学ぶ

## 【3団体懇談会】

10月29日、J A山形地区役員・農業委員・村議会議員の3団体による懇談会が、ミラ・フード館で開催された。

県庁農地整備課の宮沢直樹氏及び地方

## 【区三役・議会議員研修会】

11月15日、区三役と議会議員の合同研修会が、ミラ・フード館で開催された。

日本赤十字社・長野県支部の中村ひとみ氏を講師に招き、救急法短期講習会の研修を受け、心肺蘇生の手法と、AEDの操作方法を学んだ。

## 【東筑村議会議員交流会】

東筑摩郡5村の村議会議員交流会が、11月27日ミラ・フード館を主会場に開催された。本年は山形村議会が当番で、企画運営の任を行なう。

研修は、山形小学校長の市瀬徹氏に「子ども大人も みんないきいき わくわく」学校地域支援本部の取り組み」の講演をしていただいた。学校統合問題で慎重審議を重ねている、筑北・麻績の

事務所農地整備課青柳賢治氏による「農業農村の整備」に関する件と、松本地方事務所農政課の佐原吉実氏による「風食対策」についての講演をお聞きした。

終了後、講師を交え活発な意見交換会が行なわれた。

いざという時に、慌てず冷静確実に対応ができるように、出席者全員が個別に実践した。

終了後、シアタールームにおいて、昭和末期の山形村の姿を収録した「大地にたくす」(YCS製作)を視聴し、懐かしい人々が躍動する姿や、風景映像に思わず歓声が沸いた。

議員諸氏を筆頭に、参加議員が熱心にメモを執る姿が数多く見られた。

終了後、「清水寺」に各村のマイクロボスで移動し、山形村文化財保護委員長の逢沢佳丸氏から慈眼山「清水寺」の歴史講話をお聞きし見学会を行なう。

懇談会は、「スカイランドきよみず」に会場を移し、東筑5村における、各種の話題や課題を中心に、情報交換をする輪が多数でき、活発な意見交換が行なわれた。

ここが聞きたい

一般質問

12月議会定例会は12日に一般質問が行なわれ、村政全般に亘って12人が質問した。

## 村指定ごみ袋の価格見直しを 値下げに向けて検討を行なう



大月 民夫 議員

Q 目前に迫った「消費税の値上げ」に、多くの村民は、今後の暮らしと景気の動向を不安視している。

A この機に生活必需品の一つともいえる「ごみ袋」を、価格値下げに英断を願う、微力ではあるかもしれないが、住民の生活をバックアップする指針を、行政として打ち出していきたい。

Q 9月の定例議会でも同僚議員から提言のあった、「紙おむつ使用

らゆる角度から検討を行なう

## 再生可能エネルギー導入の構想は。太陽光発電が有利と考えるが今のところ村が事業化する計画はない

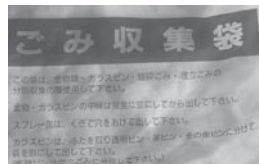


柴橋 潔 議員

Q 今、屋根貸し発電が増えているが、村の公共建物の活用はできないか。

A 村長 景観に配慮して造られている建物であるので難しい面がある。唯一考えられるの

Q その他に、「YCS文字放送に音声ガイド付きコーナーの新設」について質問した。



A 村長 新年度に向けて総合的に勘案し、前向きに検討を進めていく。

Q 剪定枝をチップにし資源化している自治体があるが村としての取り組みは。

A 村長 ゴミの減量、処理費用の軽減に繋がりが、また資源としての活用を考え前向きに検討していく。



## 農業生産基盤の整備について

村長 懸案の調査・検討から進める



小林武司 議員

**Q** 排水対策、畦かんの更新、唐沢地区畑かんの更新をどう考えているか。

**A** 村長 排水対策については県農業農村整備事業により、平成24年度から中信平右岸土地改良区が事業主体となり、大池原と東原の畑かん施設地帯の「道路等の排水状況調査、整備計画作成」の業務を行なってきた。

この排水計画検討業務により、施設管理として排水全体を把握したこと、村の実施計画に新たに掲載のうえ長年の懸案事項となっている道路等の排水施設についての恒久的な整備計画を樹立していきたいと考えている。

畦かん施設の更新と、畑かん施設の唐沢地区の更新については長年の懸案事項となっており、その整備が急務となっている。平成26年度に中信平

右岸土地改良区で、かんがい施設の状況調査を実施する予定と聞いています。

この状況調査により、畦かん組合と畑かん組合や、中信平右岸土地改良区などと協議を行ない、受益者の意見を集約したいと考えている。

その他に、全国学力テストについて質問した。

## 平均寿命・健康寿命について村長の考えは

村長 健康寿命延伸に取り組みたい



竹野入恒夫 議員

**Q** 平均寿命・健康寿命について。

**A** 村長 山形村の平均寿命は男性が81・2歳、女性が84・6歳と

日本でも長野県でも長寿の村だ。長寿であったも病院や介護施設に入っているのでは人生がつまらない、村としては健康長寿に取り組みべきだと考える。健康寿命の厚労省のデータを見ると男性の平均健康寿命は70・42歳、女性は73・62歳。その差男性は10・78年、女

性は10・98年。この差の部分が医療や介護のお世話になってる期間だ。健康寿命の延伸に取り組まなければならない。山形村の健康寿命の平均値は出ていないが、明確にして取り組み事は大きな研究課題である。

**Q** 松本市の「健康寿命延伸都市」の取り組みについて。

**A** 村長 松本市は平成20年から取り組んでいる。広域の仲間として教えていただき進めていき、山形村の良さを出

したい。

**Q** 山形村は国民健康保険が高いがどう対処するのか。

**A** 村長 何とかしないから、健康寿命の延伸の狙いは病院にかからない元気なお年寄りを作っていきたい。山形村の中に健康をテーマにした活動の取り組みが必要だと考える。

その他に、県営野球場の誘致について質問した。

## Aコープ空き店舗利用について

村長 村として、まだ後利用の計画は持ち合わせていない



中村弘 議員

**Q** 村の中心部に位置し、日本一元気な村作りを宣言している中でシャッターが閉まった店があるのは寂しい限りだ。

**A** 村長 空き店舗は県道沿いにあり、役場庁舎やトレンセンなど公共施設にも近く、また商工会館にも隣接し、様々な後利用が考えられる場所に位置していると思う。

所有財産になっている。土地は松本ハイランドが地権者と賃貸契約により借用期間が継続中とのこと。

**Q** 村の中心地であり、村として利用を考えられないか。

**A** 村長 空き店舗になつてはいるが、松本ハイランドが権利関係を行使している状況下において、村としては後利用について、今のところ持ち合わせていない。



**Q** 村の観光案内所や、村の特産品加工施設を作る場所にしたらどうか。

**A** 村長 現在空き店舗の建物は、松本ハイランド農業協同組合の

# 山形村消防団について

## 村長 バックアップ体制づくりを模索中



上条浩堂 議員

**Q** 消防団員の確保の状況は。

**A** 村長 市町村の消防団員定数は条例で定められていて、山形村は183名である。消防団は、地域性・要員動員力・即時対応力という特性を十分に発揮するため、地域実態にあった組織、団員力を確保するとともに、地域に必要な体制を整えることが期待されている。各分団では様々な努力を実施しているが、団員確保に苦慮している。今後村としてもバックアップのための体制づくりを模索していきたい。

**Q** 全国学力学習状況調査の内容はどのよ

うなものか。

**A** 村長 児童生徒の学力や学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、毎年4月に実施している。調査は、国語・算数で、主として「知識」に関する問題と「活用」に関する問題がある。同時に児童生徒の生活習慣や、生活環境に関する調査も行なう。

**Q** 道徳教育推進リーダー教師制度とはどのようなものか。

**A** 村長 現在は正式な教科でない小中学校の「道徳の時間」について、リーダー教師の導入により授業改善に取り組むものである。

**Q** 教育委員会の見直し論への見解は。

教育委員会の見直し論への見解は、

**A** 村長 教育長を教育行政の責任者として、首長に教育長任命・罷免権を与える形である。が、首長の考え方に大きく左右されるので、教育の中立性の観点から慎重に対処すべきと思う。



弁天池

# 村のため池、ダムの耐震、豪雨対策は

## 村長 弁天池から来年2月頃より調査に入る



神通川清一 議員

**Q** 昨年の台風24号による伊豆大島での大災害に伴い、村民の災害への関心が高い。東日本大震災で福島県の農業用ため池が崩壊して、甚大

な被害が出た。それを受け国が、ため池の耐震調査を進めている。村の6ヶ所のため池の調査は行なわれるか。

**A** 村長 県において、平成27年度までの計画で、ため池の危険度調査を進めている。下竹田の弁天池から来年2月頃には調査に入る。他のため池も管理者の水利組合

と県で協議をし、順次進め必要に応じてため池の耐震改修もあわせて行ない、住民の安心・安全と不安の解消に努める。

**Q** 村の清水ダムと堂ヶ入ダムの耐震調査及び上流部の土質調査は。

**A** 村長 ダムの耐震はダムの設計時に考慮している。上流は軟弱な地盤だが、県では定期的に、調査をし、本年調査で異常はなかったとのこと。

その他に、清水寺の防災について質問した。

# 防災行政無線について

## 村長 27年度より無線化する予定



宮沢 敏 議員

**Q** 市町村などの自治体は、地域住民の安全と安心を守るために、常に防災情報を収集し、いち早く正確な情報を伝

えることが求められている。防災行政無線の整備状況について、山形村の現在のシステムは有線で運用されており、震災等で支柱や建物の倒壊等による断線や屋内スピーカーが設置されていない家庭も考えられるので、無線化にしてはどうか。

えることが求められている。防災行政無線の整備状況について、山形村の現在のシステムは有線で運用されており、震災等で支柱や建物の倒壊等による断線や屋内スピーカーが設置されていない家庭も考えられるので、無線化にしてはどうか。

**A** 村長 全村民の安心・安全のため、同報系の通信システムを整備し、全ての家庭に受信機を備えて平成27年度より無線化する予定。

**Q** 国民の活字離れが進んでいると言われているが、最近多くの人に来館してもらおうと工夫を凝らしている図書館が増えている。そのアイデアの1つに近年図書館が所蔵する雑誌の購入代金の全部または一部

を負担し、その見返りとしてスポンサー名の掲示を行なう「雑誌スポンサー制度」が広まりつつあるが、どう考えるか。

**A** 村長 図書館サービスを向上していくため「雑誌スポンサー制度」は有効な1つの手段と思われるので制度導入について協議していきたい。



## 「秘密保護法」は廃止の声を

村長 問題が多く、慎重にすすめるべき



大池 俊子 議員

Q 憲法の基本原理を踏みにじる特定秘密

保護法案が、わずか2週間の審議で衆議院本会議で強行採決され、その後参議院でも強行採決された。国民の目・耳・口をふさぐ秘密保護法案は、どの世論調査でも反対、慎重審議が急速に広がり

今国会で成立させるべきでないとの声が7〜8割になっている。そんな中で、村長は「信毎」のアンケートに何をもって賛成と答えたか。

A 村長 国を守るために敵国に意図的に、かつ金銭をもらって漏洩する公務員については罰すべきと官僚組織の充実のために言った。対象は税金をもらって仕事をしている公務員だけで

その他に、子育て支援、全国一斉学力テスト成績公表、交通安全協会山形支部の会費徴収について質問した。

光交流の定着化。

その他に、全国学力テスト関連について質問した。

## 清水寺を観光資源として観光面に利用する可否は

村長 村のシンボル、村の財産として利用活用すべき



上條 光明 議員

Q 約9カ月経過した行政運営に対する感想は。

A 村長 一言で言うならば、村民の代表とは本当に大変なことと

思っている。

Q 財政健全化についての考え方は。

A 村長 財政運営の弾力性の保持を図ることが当面の課題。また、借入金残高が総額約74億円あり、今後縮減することも課題。

清水寺を観光資源として観光に利用する可否は。

A 村長 ①人材の育成、国保税の減少、滞納金の減額、子育て支援センターの運営②県保育大会の成功③スカイランドきよみずの経営の継続④風食対策、風食シンポジウムの取り組み⑤観

ある。

しかし新聞紙面では一般市民も罰するなどという見出しが出ていたので、理解ができず、本案そのものは問題が多すぎるので慎重に、すすめるべきと意見を述べた。

その他に、子育て支援、全国一斉学力テスト

成績公表、交通安全協会

山形支部の会費徴収につ

いて質問した。

その他に、全国学力テ

スト関連について質問し

## 小学校の状況は

教育長 地域と学校を繋ぐ 地域支援本部が積極的活動



三澤 一男 議員

する。

地域の方々の支援としてのボランティア活動には、読み聞かせ、学校支援クラブ活動、安心・安全の4つの支援部がある。登録をして参加していただきたい。学校の願いと支援内容は支援本部に地域コーディネーターがいるので相談してほしい。

Q 地域の宝として、児童を地域全体で支える取り組みのコミュニティ・スクールの活動をお聞きしたい。

A 教育長 信州型と法律に基づく学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールがある。発足時の事務的負担はあるが、学校運営を保護者、地域、学校が一緒になってやっていくことから将来的には負担軽減

その他に、小学校六年

生を対象に行なわれた全

国学力・学習状況調査、

色覚検査、校舎老朽化対策、非常時災害備蓄等小学校全般について質問した。



清水寺

# 民間感覚で行政を

## 改革すべき点は何か

長 行政の成果の「見える化」を  
村 図ることである



竹野 園 磨 議員

**Q** 就任以来9ヶ月間の行政経験で感じられたことは何か。

**A** 村長 まず挨拶である。その会議の内容を理解し準備することに苦労した。次に村外の仕事、松塩筑安曇野等の広域組合関係のこと、県内市町村関係、県や地方事務所との繋がりの中で村長の責務と山形村の村益を考えた行動の重要性を感じた。

**Q** 民間感覚で改革すべきと考えていることは何か。

**A** 村長 民間の仕事の究極は見える化で

ある。徹底した無駄の削減は全てをさらし見えるようにすることである。今の役場は改善の進んでいない会社と同じである。企業のものづくりに値する仕事は情報である。色々な情報に付加価値をつけて住民サービスを提供すること、それを分かりやすくするために目標設定をし、検証することにより成果や効果を見えるようにする。役場の仕事を急に変えることはできないが、できることからやり村長業務として庁舎内の仕事の内容や成果を見えるようにしていきたい。



## 私の子育ての中で

藤森 美穂

小坂

私が育ったこの山形村で再び生活するようになったのは、15年前の事です。結婚し、長男の入学を機にこちらへ転入しました。

当時から共働きをしていた為、2人の子供達は小学校へ入学すると同時に、放課後登録児童として下校後や長期の休みにあふれあい児童館で預かっていただきました。児童館のおかげで、私も仕事を続けてくる事ができました。今、その子供達は大学生と高校生。私の子育てもあと少しですが、仕事をしながらの子育てで大変だと感じたのは高校生の通学です。今も松本の高校へ通う次男を自宅と駅を車で送迎しています。村の中をコミ

ュニティバスが通るよう



## 投票率を上げよう

上條 和夫

下竹田

今年は4年に1度の冬季オリンピックの年で、今回のソチオリンピックにはフィギュアスケートの女子に浅田・鈴木・村上の各選手が選ばれました。男子では全日本選手権で優勝した羽生・2位の町田選手、そして高橋選手が選ばれました。高橋選手は全日本選手権で5位でした。しかし全日本選手権の成績

以外、選考判断基準の1つ、世界ランキングと自己ベストが3位の選手より上だったので選考されました。選ばれた選手にはソチオリンピックで頑張ってもらいたいです。山形村でも今年

は4年に1度の村会議員選挙が行なわれます。これから告示に向けて今の山形村を託せる人達が立候補してくれると思います。そんな中投票するときは選挙公報などを参考に、自分なりの判断基準を作り投票するつもりです。

近年、選挙の投票率が下がってきています。村議員選挙の投票率も前々回が74・61%で前回が73・06%とわずかではあるが下がっています。日本一元気な議会と

するために、投票率を上げることが重要だと思います。私たちが有権者が棄権することなく投票し、投票率を上げることで、日本一元気な山形村議会となることを期待したいと思います。

山形村でも今



山形村でも今

山形村でも今

# 区長時代の思い出

私が平成18・19年度の区長に就任することになり前任者より沢山の引継ぎがありましたが、区には事務局も職員も無く区の評議員の方々とで運営するので大変な仕事でした。初め何から事業をして良いのか分からず、区中を見て回って計画を立てました。事業の全部が心に残ることばかりでした。

区有林については境界が分からず、山を知っている方にお願ひし山へ3回も行き境界を探し、評議員全員が3寸角・6尺のクイ材を1本ずつ背負い、30分ほど道の無い所を歩いて境界クイを埋めました。また、防災組織については、清沢村長より「近隣町村には防災組織があるが、山形村には

無いので大至急作ってほしい」と要請があり、他町村の資料を参考にしたり、広域消防局の署長さんより講演をしていただき参考にして作りました。平成19年には台風の大雨により、大池川が流木や土砂で氾濫し、豆沢地籍の水田が上から下まで全面に畦あぜを水が滝のように流れ落ちる大災害が起り、大自然の計り知れない力を目前にして恐怖を感じたものでした。区民や評議員に感謝致します。



瀬川 祐司 (土大池)

## 議会日誌

### △10月▽

- 1日 議会運営委員会
- 9日 夏祭り山形じゃんずら反省会 (ミラ・フード館)
- 11日 議会全員協議会
- 15日 議会運営委員会
- 18日 第4回議会臨時会
- 19日 やまの子保育園運動会
- 21日 道祖神と新そば祭り実行委員会 (商工会館)
- 22日 花壇かたつけ
- 23日 福祉文教常任委員会
- 26日 山形村人権教育推進委員会 (山形小学校)
- 29日 JA・農業委員会・議会懇談会 (ミラ・フード館)

### △11月▽

- 2日 道祖神と新そば祭り
- 15日 議会全員協議会
- 区三役・議員研修会 (ミラ・フード館)
- 19日 鉢盛中学校組合議会



### △12月▽

- 19日 虐待防止講演会 (いちいの里)
- 26日 総務産業常任委員会
- 27日 東筑摩郡村議会議員交流会 (ミラ・フード館)
- 29日 道祖神と新そば祭り反省会 (商工会館)
- 5日 議会運営委員会
- 11日 第4回山形村議会定例会開会
- 12日 議会一般質問
- 16日 総務産業常任委員会
- 17日 福祉文教常任委員会
- 19日 第4回山形村議会定例会開会
- 24日 議会運営委員会
- 山形村・朝日村 風食防止対策シンポジウム (ミラ・フード館)
- 25日 第5回議会臨時会
- 福祉文教常任委員会

## 旬の味

話題になった言葉を選び、世相を表す「ユーキャン」の新語・流行語大賞。昨年は、4つもの年間大賞が選ばれた。TBSドラマ「半沢直樹」のセリフ「倍返し」、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」で、主人公が驚いたときに使った岩手県三陸地方の方言「じゃえじゃえ」、予備校のCMで林修講師が使った「ムッコヨー」、2020年の東京五輪開催を呼び込んだ滝川クリステルさんのスピーチ「おもてな・し」と、4つも年間大賞に選ばれたのは過去最多だ。

山形村の清水寺と京都の清水寺との交流を目指す村有志の組織「山形清水寺絆会」の活動が本格的に始まった。清水寺の森清範貫主を村に今年5月招いて交流会を開く計画で、交流を深めることで山形の振興を目指す。活動の輪に期待したい。

日本漢字能力検定協会は、2013年を一字で表す昨年の漢字を「輪」に決め、京都の清水寺で発表した。森清範貫主が縦1・5メートル、横1・3メートルの越前和紙に一気に書き上げた。

森貫主は「輪は大勢の人が手を握り合って円滑に回転していく字。譲り合い、支え合い、認め合うところに、和の精神がある」と話した。

竹野入恒夫